

名古屋大学大学院博士前期課程及び専門職学位課程 奨学金返還免除内定制度への申請方法について

本制度への申請希望者は、電子メールにて仮申請をしてください。電子メールの件名、記載内容は下記のとおりとします。

仮申請が完了した者には、返信メールにより、本申請の方法等をご案内いたします。

記

- 件 名
博士前期課程等における返還免除内定制度への申請希望について
- 本文に記載する内容
 1. 申請者氏名（漢字・ふりがな）
 2. 電話番号
 3. 入学予定の研究科及び専攻
 4. 申請希望の特定分野
 5. 給付奨学生番号（給付奨学生でない場合は住民税非課税世帯である旨）
 6. 合格した大学院入試の受験番号（合格前の場合は受験予定日）
- 宛 先
名古屋大学学生支援課奨学支援係：nu-jasso.loan@adm.nagoya-u.ac.jp
- 期 限
令和5年2月24日（金）13時 厳守
本申請の締切は2月27日（月）13時を予定しています。申請者の状況によって証明書が必要になる場合がありますので、期限に関わらず、早めに仮申請を行ってください。
- 参 考 リンク
名古屋大学 Web サイト
<http://kouho.jimu.nagoya-u.ac.jp/academics/scholarship/exemption/exemptionsub/5.html>
日本学生支援機構 Web サイト
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

以上

別表 特定分野の対象となる研究科及び専攻並びに推薦可能人数

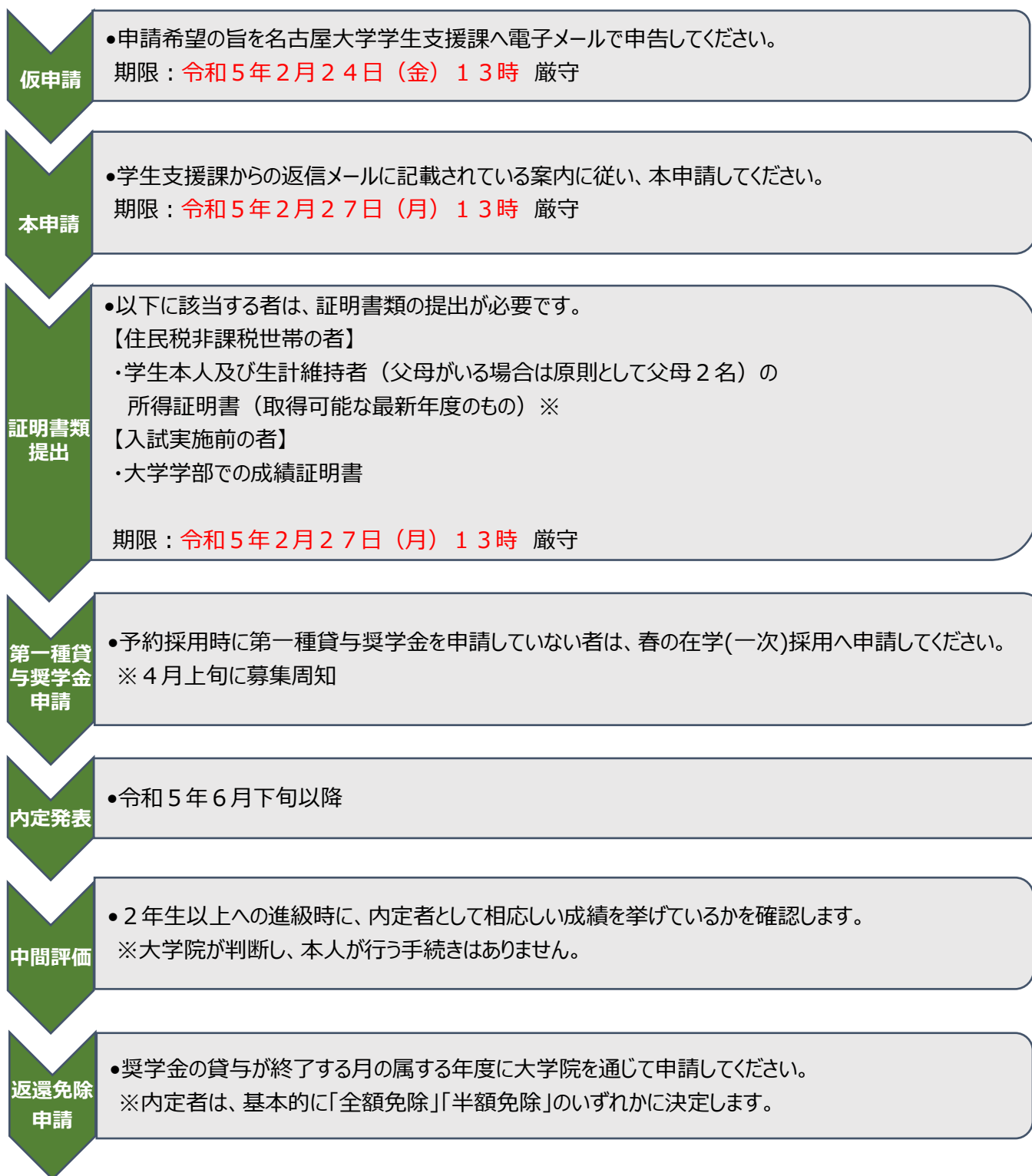
研究科	専攻	大学の強みや地域の強み 等を生かした分野 1 2名	科学技術イノベーション創出に寄与する分野 1 8名			
		アジア未来創造分野	情報・AI分野	量子分野	マテリアル分野	
人文学研究科	人文学専攻	○	○			
教育発達科学研究科	教育科学専攻	○	○			
	心理発達科学専攻	○	○			
法学研究科	総合法政専攻	○	○			
経済学研究科	社会経済システム専攻	○	○			
	産業経営システム専攻	○	○			
情報学研究科	数理情報学専攻	○	○	○		
	複雑系科学専攻	○	○	○	○	
	社会情報学専攻	○	○			
	心理・認知科学専攻	○	○			
	情報システム学専攻	○	○			
	知能システム学専攻	○	○		○	
理学研究科	理学専攻		○	○	○	
医学系研究科	医科学専攻	○	○			
	総合保健学専攻	○	○			
工学研究科	有機・高分子化学専攻			○	○	
	応用物質化学専攻			○	○	
	生命分子工学専攻		○	○	○	
	応用物理学専攻		○	○	○	
	物質科学専攻		○	○	○	
	材料デザイン工学専攻		○		○	
	物質プロセス工学専攻		○	○	○	
	化学システム工学専攻		○		○	
	電気工学専攻		○	○	○	
	電子工学専攻		○	○	○	
	情報・通信工学専攻		○	○	○	
	機械システム工学専攻		○	○	○	
	マイクロ・ナノ機械理工学専攻		○	○	○	
	航空宇宙工学専攻		○	○	○	
	エネルギー理工学専攻		○	○	○	
	総合エネルギー工学専攻		○	○	○	
土木工学専攻	○	○		○		
生命農学研究科	森林・環境資源科学専攻	○	○		○	
	植物生産科学専攻	○	○		○	
	動物科学専攻	○	○		○	
	応用生命科学専攻	○	○		○	
国際開発研究科	国際開発協力専攻	○	○			
多元数理科学研究科	多元数理科学専攻		○	○		
環境学研究科	地球環境科学専攻	○	○		○	
	都市環境学専攻	○	○		○	
	社会環境学専攻	○	○			
創薬科学研究科	基盤創薬学専攻		○		○	

研究科	専攻	大学の強みや地域の強み 等を生かした分野 1名	科学技術イノベーション創出に寄与する分野 1名			
		アジア未来創造分野	情報・AI分野	量子分野	マテリアル分野	
法学研究科	実務法曹養成専攻	○	○			

各分野の育成する人材

アジア未来創造分野	アジア諸国との共生を志向し、SDGsへの貢献と豊かで活力ある社会の構築を目指すとともに、未来の知の継続的創出や社会実装を担う人材
情報・AI分野	モビリティ分野、創薬・医療・個別化予防、基礎医学など医学分野を中心に、人文社会学、理学、数理科学、農学など広い分野を支え、牽引し、発展させる、未来の知の継続的創出や社会実装を担い、グローバルに活躍する情報・AI人材
量子分野	量子科学分野の対象となる数学・理学などの量子基礎学理から、半導体等を用いた量子デバイス応用までの幅広い研究階層に対し、階層間を融合した学術研究を切り拓き、グローバルに活躍する卓越した人材
マテリアル分野	我が国のマテリアル革新の原動力となる人材育成を目的とする。 電気電子・機械・情報・エネルギー・生物・医療・農業などの多分野とマテリアル科学の融合領域を開拓し、基礎学理から応用に至る上流から下流までを俯瞰的に捉えて革新的プロダクトを生み出すために必要な研究力を有して、自身のキャリアを切り拓ける卓越した人材

令和5年度博士前期課程等返還免除内定制度におけるスケジュール



※所得証明書について

市区町村が発行する「所得額」が記載された書類のことで、名称は、市区町村によって異なります。

（例）名古屋市「市民税・県民税証明書」

特に優れた業績による奨学金返還免除制度

修士課程に内定制度が創設されます

修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」）へ
令和5年度に進学を予定している方から対象

修士課程等へ進学する前年度に進学を予定している大学院を通じて申請できます
(対象となる大学院へは機構から通知します)

制度創設の目的

優秀な低所得世帯の大学学部生等に対して、修士課程等での修学に係る経済的不安を早期に
解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的としています

免除者の割合

これまでの第一種奨学金貸与終了者数に対する30%とは別に、新たに5%が内定制度限定の
推薦枠として、対象となる大学院に配分されます

対象要件

以下のいずれも満たす必要があります

- ① 大学学部等において修学支援新制度を利用していること 又は 非課税世帯であること
- ② 科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）又は大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること
- ③ 将来上記②の分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること

選考方法

上記の「対象要件」を満たしていることを大学院において確認したうえで、大学院入試の成績やこれに代わる大学学部の成績等をもとに、文部科学省令で定める各業績について十分な成果を挙げる見込みがある者として、総合的に評価し選考されます

中間評価

内定者となった場合は 年に1回中間評価があり 内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します（学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります）

貸与終了時には 改めて業績免除の申請をする必要があります

第一種奨学金の申込みは 別途手続きが必要です
内定制度の申請をただけでは 第一種奨学金は受けられません